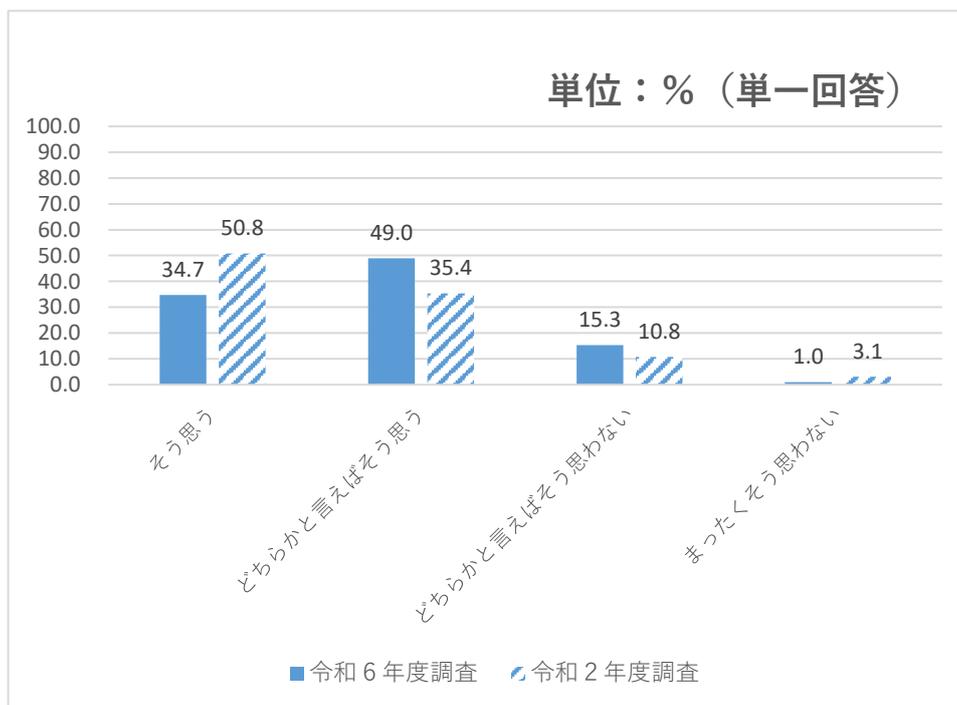


資料1_中期見直しに向けた小学生アンケートの回答比較

	令和6年度調査	令和2年度調査
調査方法	出前授業の際に小学校1校に依頼・後日回収	各小中学校に依頼・後日回収
回答期間	R6.11.7～R6.11.12（6日間）	R2.7.3～R2.7.17（15日間）
対象者数	小学生：98人 ※環境エネルギー学習の出前授業を行った小学5年生の3クラスを対象に実施	小学生：353人 中学生：175人 合計：528人 ※各小学校（5校）の5年生及び中学校（3校）の2年生のうち各校1クラス以上を対象に実施
回収数	計98人	計528人

問1. あなたは、家のまわりの環境について、どう思いますか。

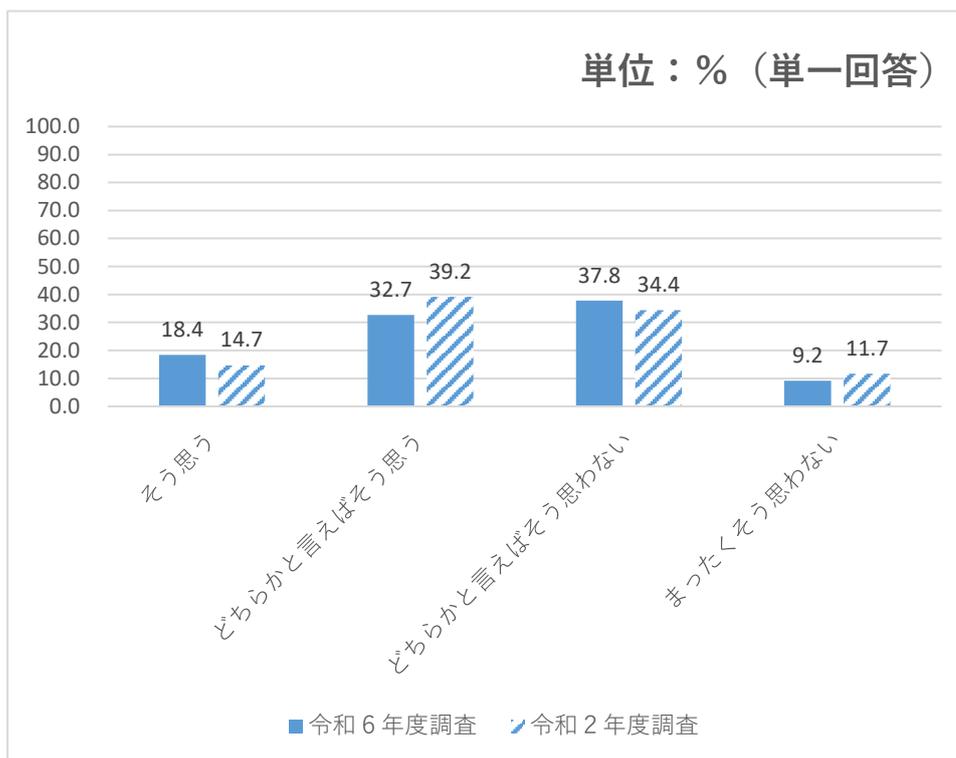
問1-1. 空気がきれい



※令和6年度・令和2年度では、ともに肯定的な回答が8割を占めている。

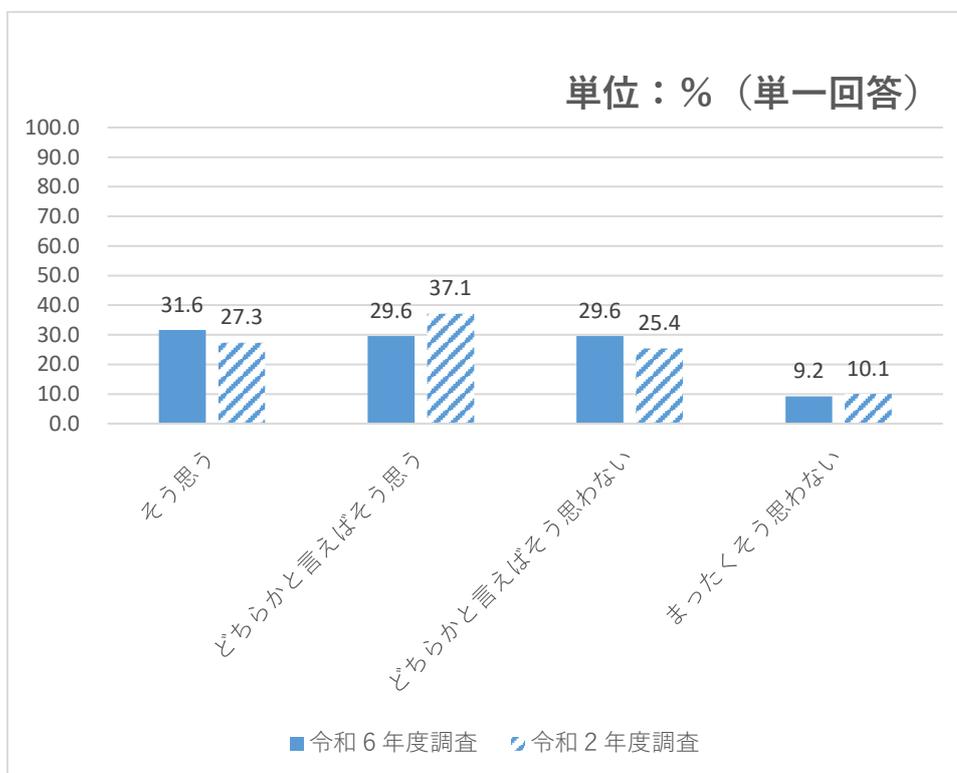
資料1_中期見直しに向けた小学生アンケートの回答比較

問1-2. 川の水がきれい



※令和6年度・令和2年度では、概ね同様の傾向を示しており、肯定的な回答は5割に留まっている。

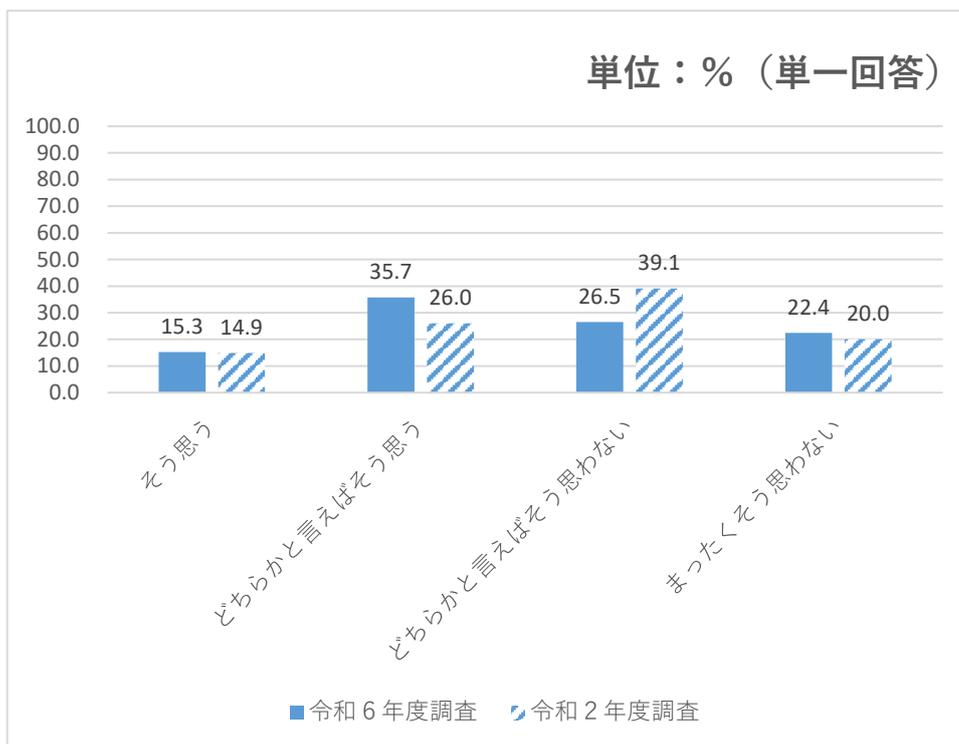
問1-3. しずか



※令和6年度・令和2年度では、概ね同様の傾向を示しており、肯定的な回答は6割を占めている。

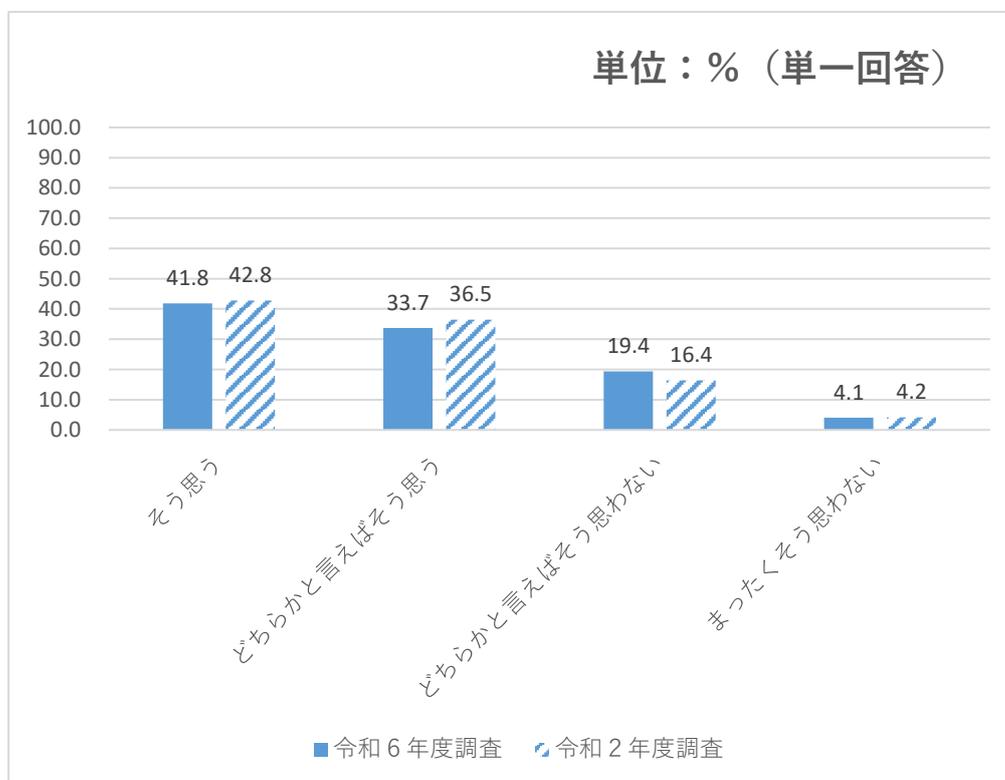
資料1_中期見直しに向けた小学生アンケートの回答比較

問1-4. ごみのポイ捨てがない



※令和6年度・令和2年度では、概ね同様の傾向を示しており、肯定的な回答が4割から5割に増加している。

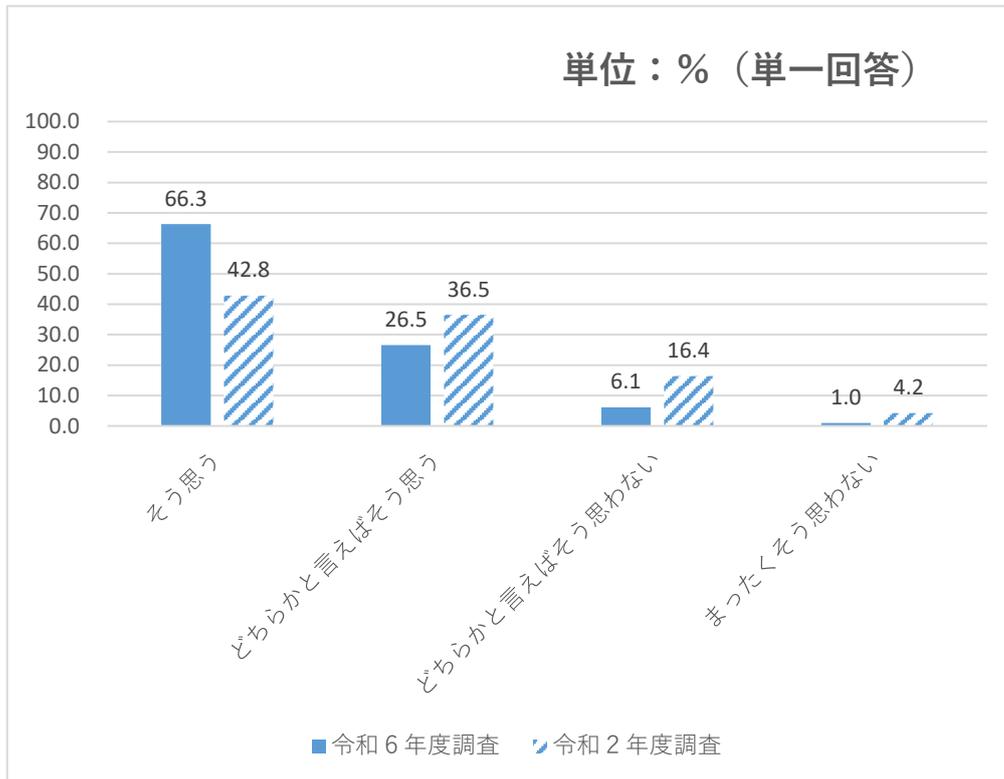
問1-5. 緑が多い



※令和6年度・令和2年度では、概ね同様の傾向を示しており、肯定的な回答は8割を占めている。

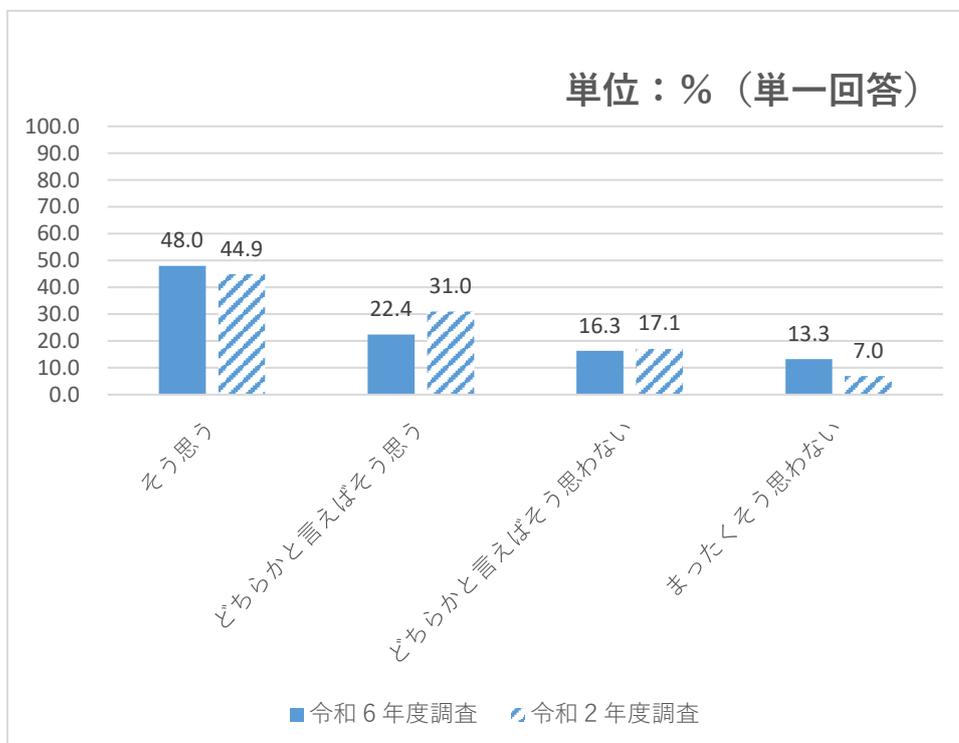
資料1_中期見直しに向けた小学生アンケートの回答比較

問1-6. 小鳥や虫が見つけれれる



※令和6年度・令和2年度では、肯定的な回答が8割から9割に増加している。

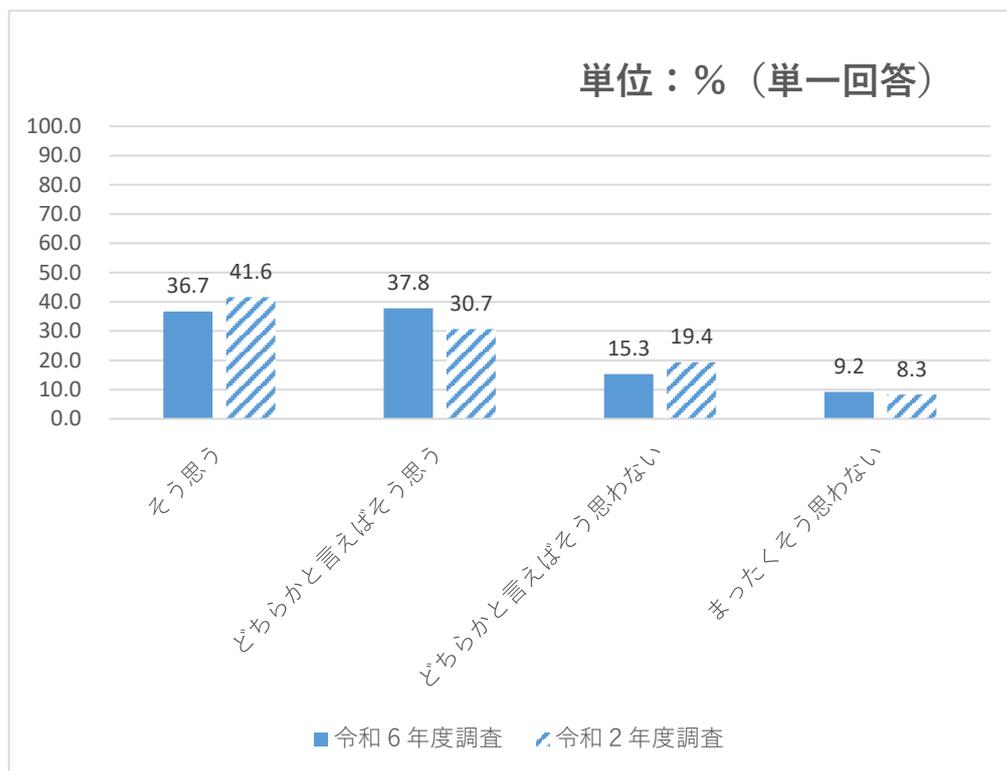
問1-7. 草花を育てたり、土いじりができる



※令和6年度・令和2年度では、概ね同様の傾向を示しており、肯定的な回答が8割から7割に減少している。

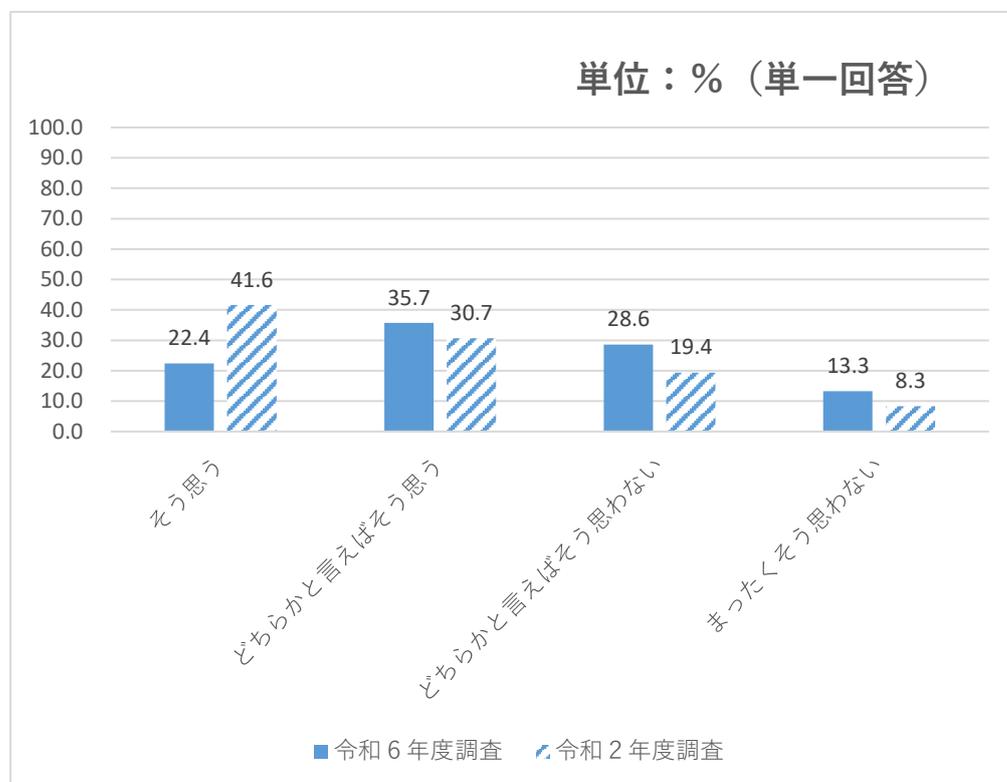
資料1_中期見直しに向けた小学生アンケートの回答比較

問1-8. 山や田畑のながめがきれい



※令和6年度・令和2年度では、概ね同様の傾向を示しており、肯定的な回答は7割を占めている。

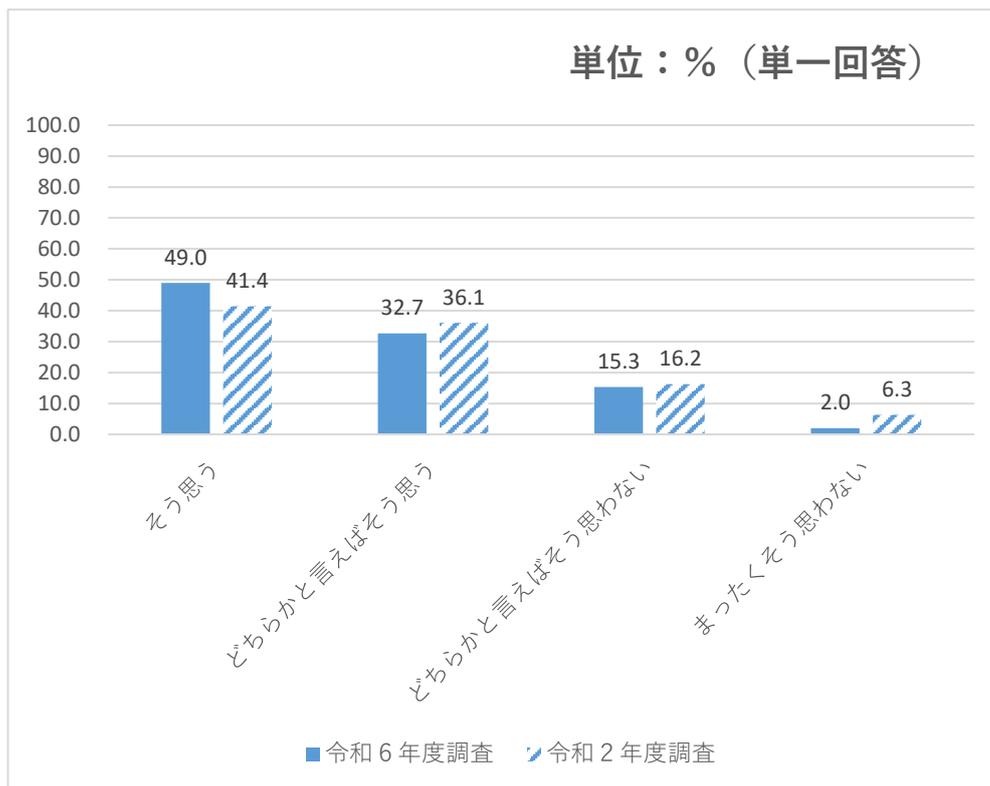
問1-9. 家や商店街などの街なみがきれい



※令和6年度・令和2年度では、否定的な回答が若干であるが増加し、肯定的な回答が7割から6割に減少している。

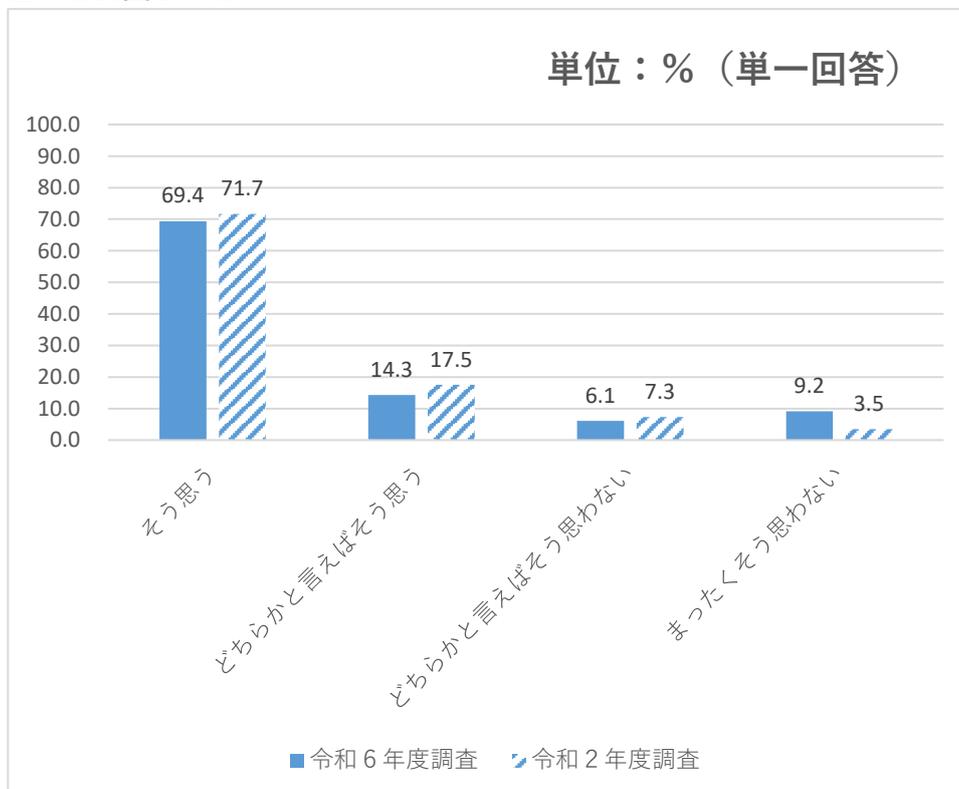
資料1_中期見直しに向けた小学生アンケートの回答比較

問1-10. 安全に歩ける歩道がある



※令和6年度・令和2年度では、概ね同様の傾向を示しており、肯定的な回答は8割を占めている。

問1-11. 遊べる公園がある

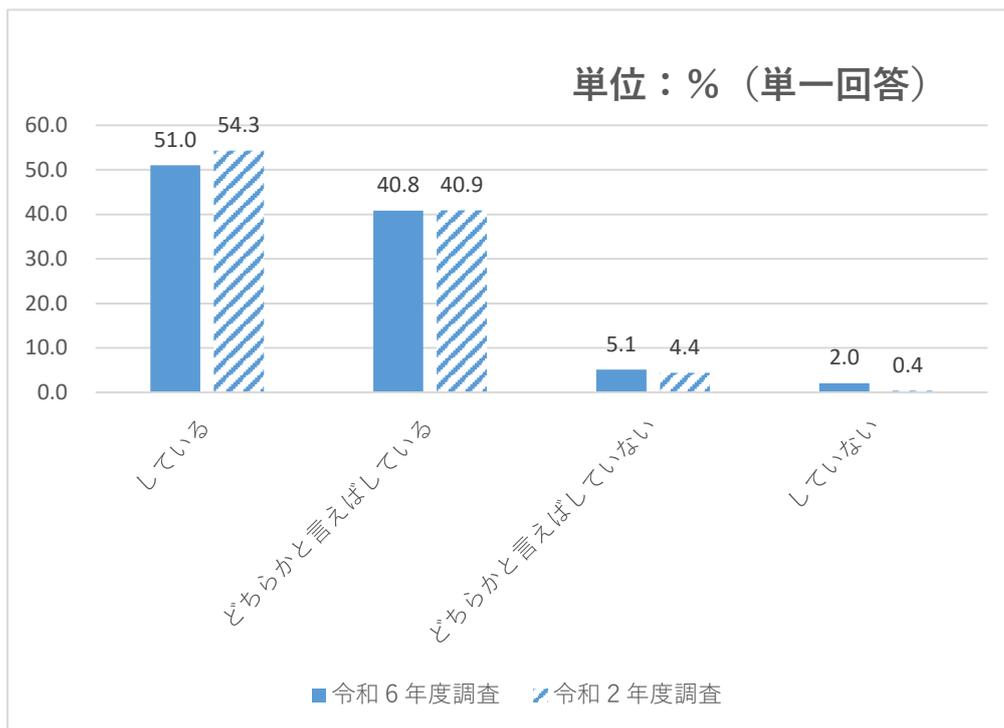


※令和6年度・令和2年度では、概ね同様の傾向を示しており、肯定的な回答が9割から8割に減少している。

資料1_中期見直しに向けた小学生アンケートの回答比較

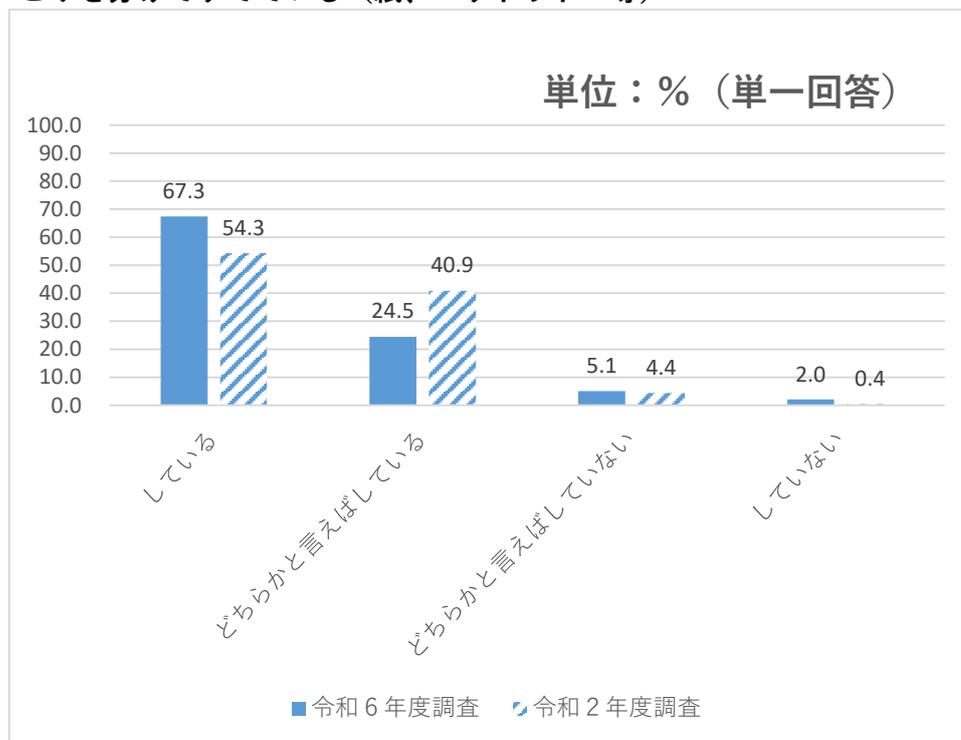
問2. あなたは、ふだん環境にやさしい取り組みをしていますか。

問2-1. ものを大切に使う



※令和6年度・令和2年度では、概ね同様の傾向を示しており、肯定的な回答がいずれも9割に達している。

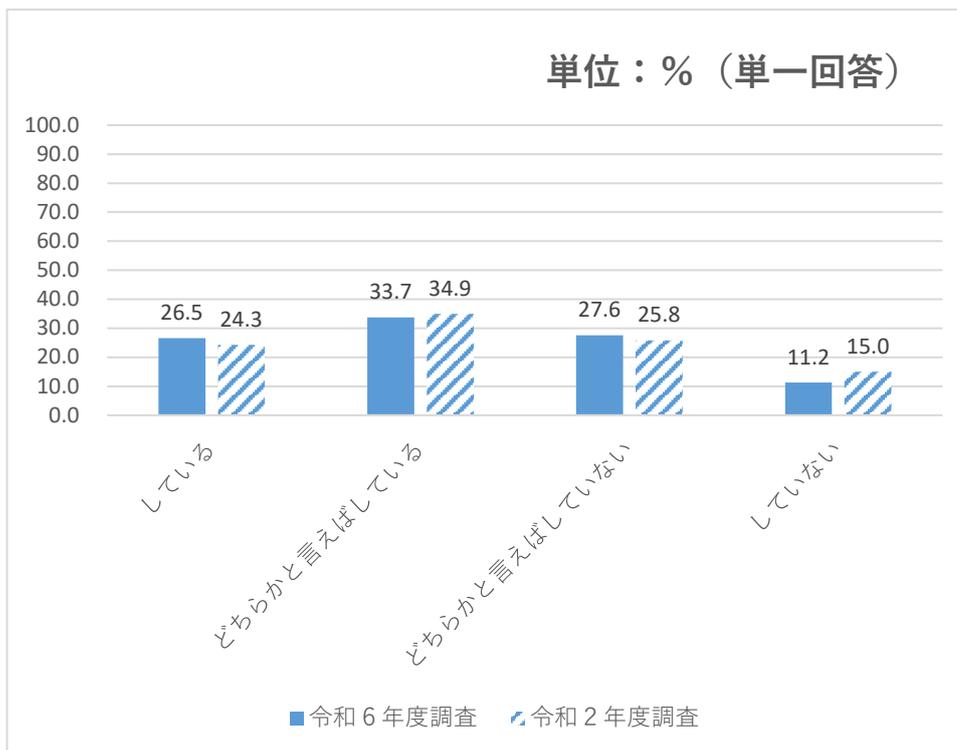
問2-2. ごみを分けてすてている（紙、ペットボトル等）



※令和6年度・令和2年度では、肯定的な回答がいずれも9割に達している。

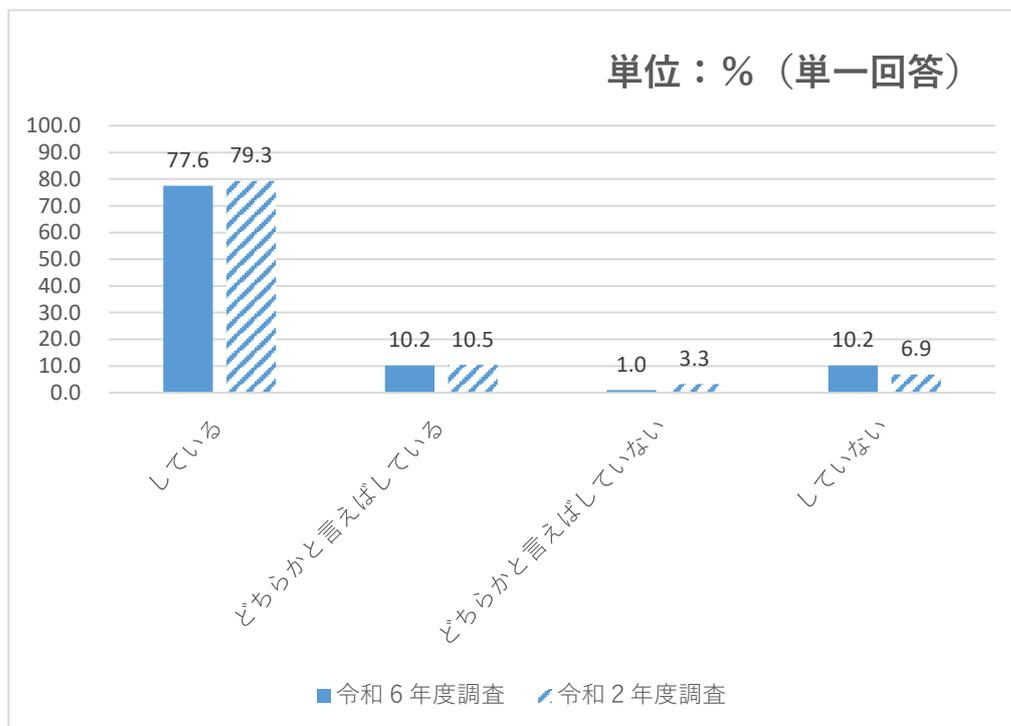
資料1_中期見直しに向けた小学生アンケートの回答比較

問2-3. 家のまわりのそうじをしている



※令和6年度・令和2年度では、概ね同様の傾向を示しており、肯定的な回答は6割を占めている。

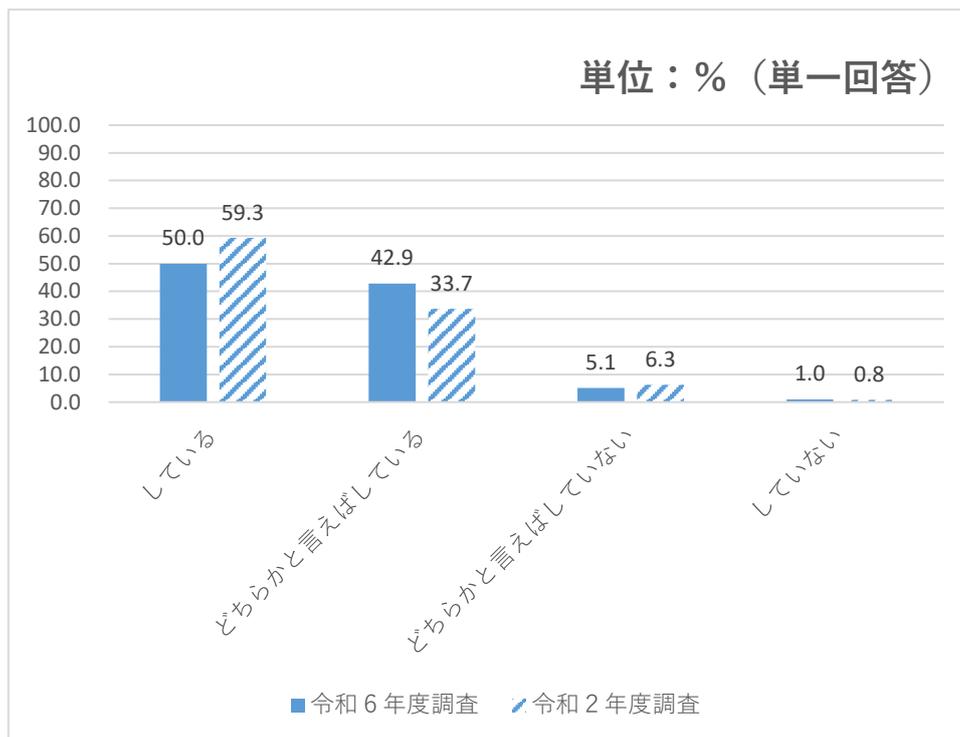
問2-4. ごみのポイ捨てをしない



※令和6年度・令和2年度では、概ね同様の傾向を示しており、肯定的な回答がいずれも9割に達している。

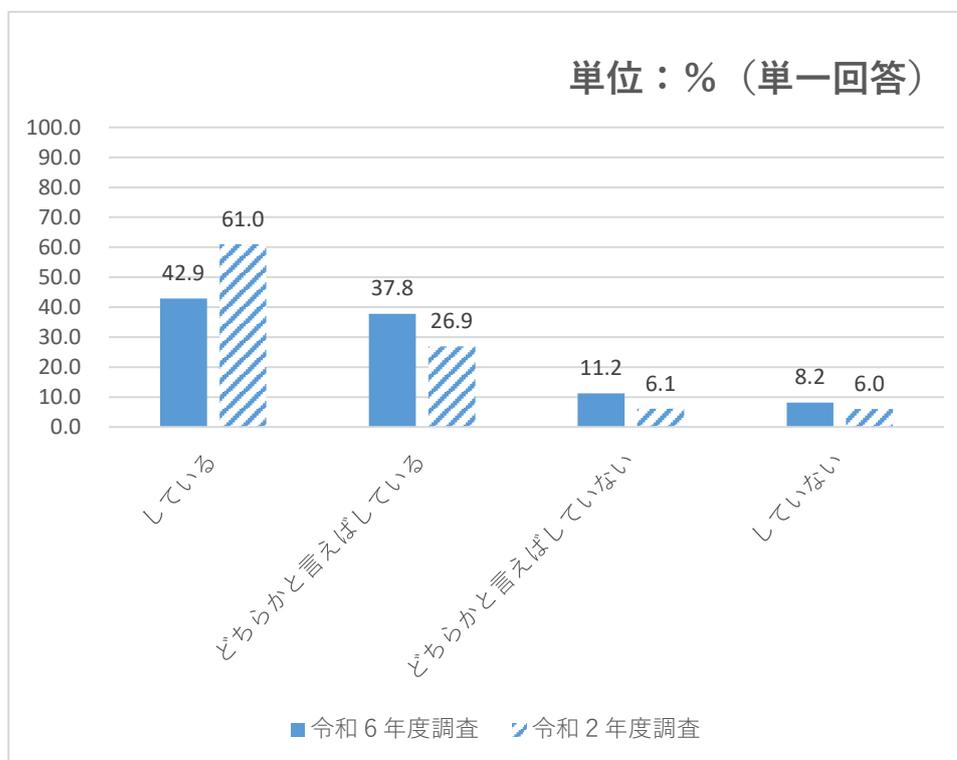
資料1_中期見直しに向けた小学生アンケートの回答比較

問2-5. 水を大切に使う



※令和6年度・令和2年度では、肯定的な回答がいずれも9割に達している。

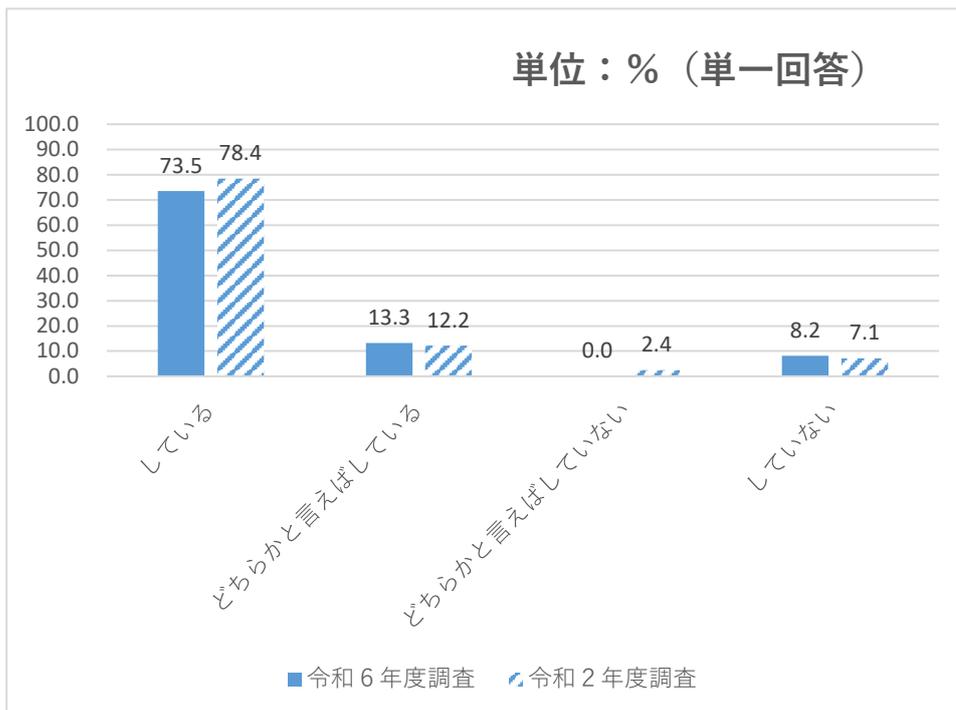
問2-6. 大きな音を出して、近所に迷惑をかける



※令和6年度・令和2年度では、否定的な回答が若干ではあるが増加し、肯定的な回答が9割から8割に減少している。

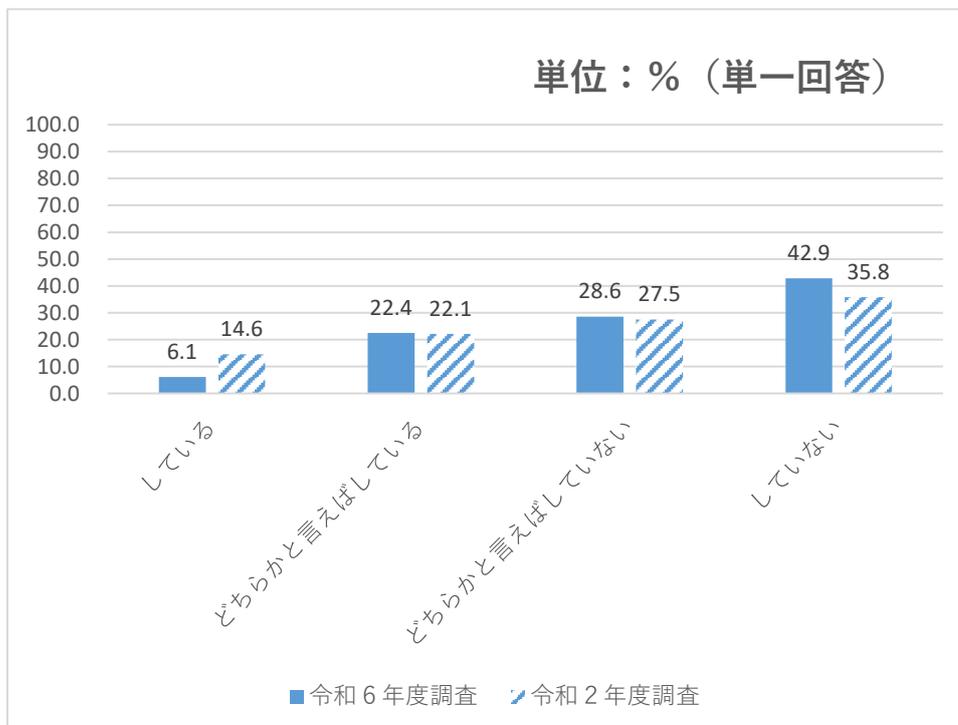
資料1_中期見直しに向けた小学生アンケートの回答比較

問2-7. ペットを飼う場合は、近所に迷惑をかけない（ふんの始末など）



※令和6年度・令和2年度では、概ね同様の傾向を示しており、肯定的な回答がいずれも9割に達している。

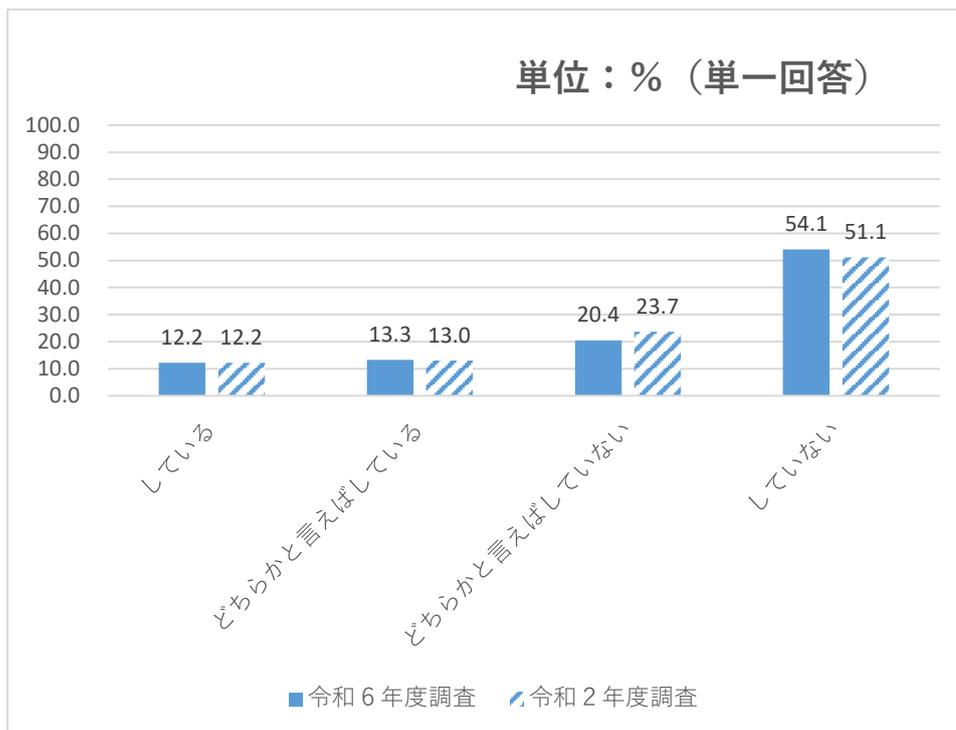
問2-8. 環境について家族で話すことがある



※令和6年度・令和2年度では、概ね同様の傾向を示しており、肯定的な回答が4割から3割に減少している。

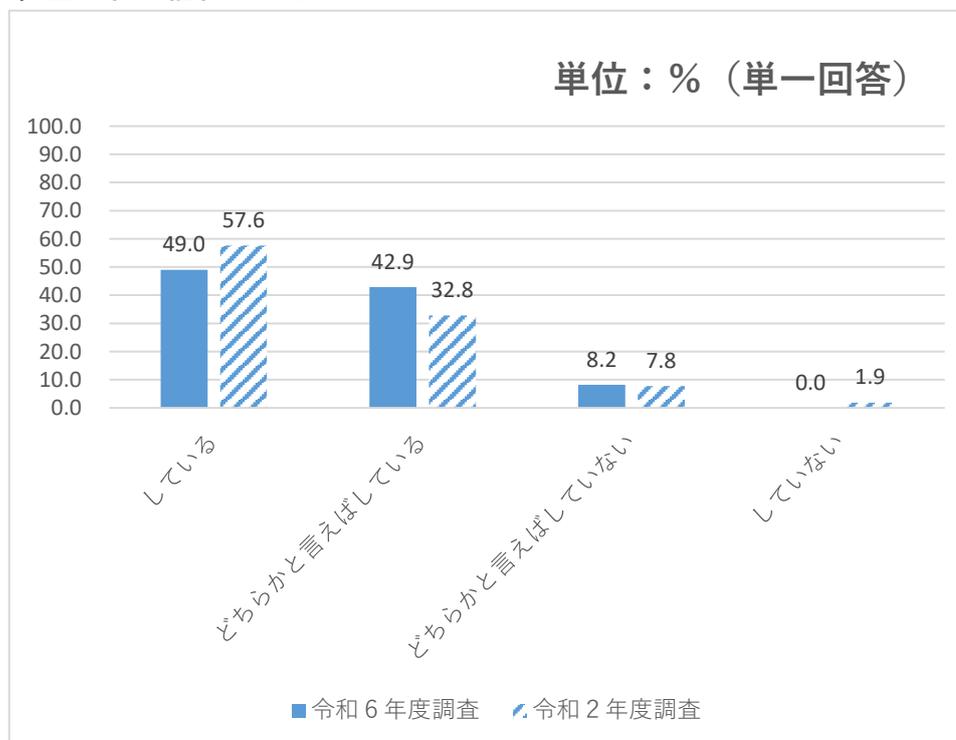
資料1_中期見直しに向けた小学生アンケートの回答比較

問2-9. 地域で行う道路、公園などのそうじに参加している



※令和6年度・令和2年度では、概ね同様の傾向を示しており、肯定的な回答は3割に留まっており、参加率はよいとは言えない状況にある。

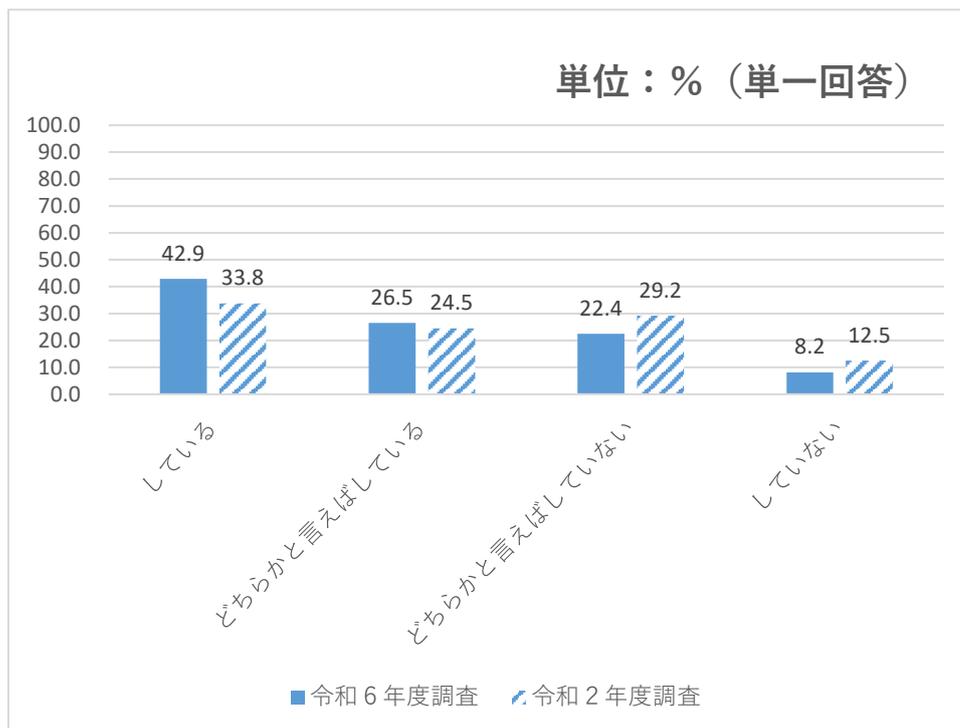
問2-10. 生き物や植物などを大切にしている



※令和6年度・令和2年度では、肯定的な回答がいずれも9割に達している。

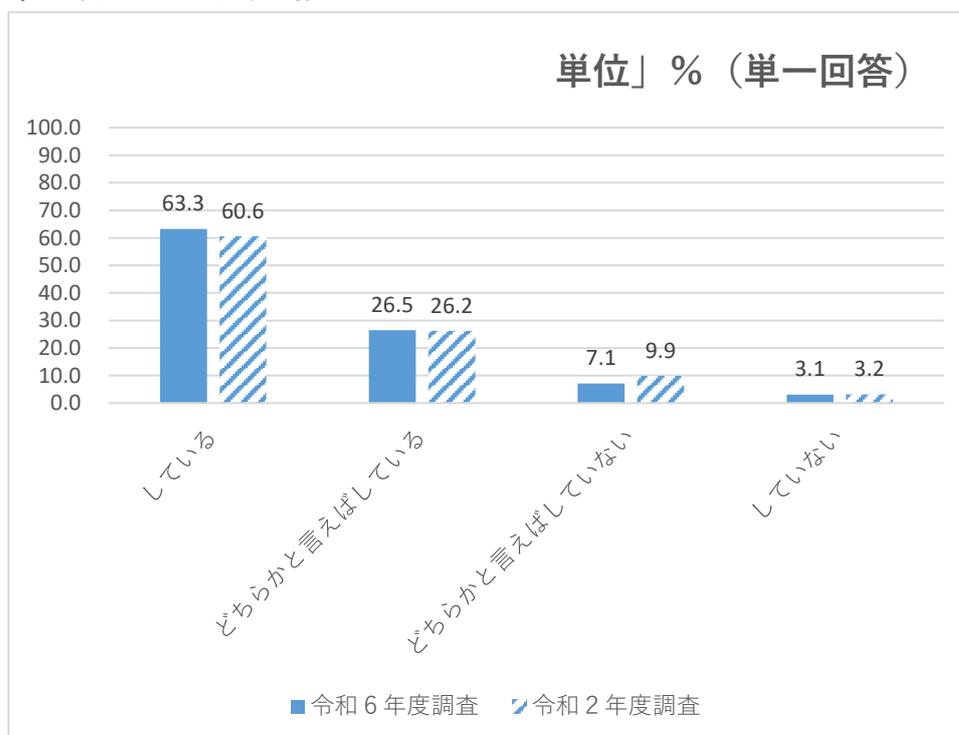
資料1_中期見直しに向けた小学生アンケートの回答比較

問2-11. 出かけるときはできるだけ電車、バス、自転車を使う（自家用車に乗らない）



※令和6年度・令和2年度では、肯定的な回答が6割から7割に増加している。

問2-12. 必要のない電気は消す



※令和6年度・令和2年度では、概ね同様の傾向を示しており、肯定的な回答がいずれも9割に達している。

資料1_中期見直しに向けた小学生アンケートの回答比較

質問3 寒川町の環境をよくするために、何をすればよいと思いますか。自由に書いてください。

一部抜粋

令和6年度調査	令和2年度調査
<ul style="list-style-type: none"> ・ポイ捨てがあらうらできるだけそうじする。公園などのそうじをできるだけ多くする。(ポイ捨ての禁止に関する意見は多数見られた。) ・通学路にときどきふんが落ちてからきちんと始末をしてほしい。 ・生きものを大切にする。 ・公園がもっと多くしてほしい。 ・自然が多い町になってほしい。 ・二酸化炭素を出さない。 ・1人1人が少しずつでも環境について話したり考えて行動する。 ・SDGsの取り組みをする。 ・きれいな町になってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイ捨てをしない。できるだけ車を使わない。水を無駄にしない。(ポイ捨ての禁止に関する意見は多数見られた。) ・山や森など自然を守る。 ・もっと遊べる公園が欲しい。ショッピングモールがほしい。街灯を増やしてほしい。プールがほしい。 ・川をきれいにする活動がいいと思う。 ・無駄な電気を使わない。 ・花や木の苗を植える。車の数を減らす。 ・ごみ捨て場がカラスのせいで散らかっている。ゲートボール場の近くに犬のフンが多い。 ・野生の動物や植物を増やす活動。

総括

- ・令和2年度の第3次寒川町環境基本計画の策定時においては、各小中学校の1クラス以上を対象としたアンケートを行い、全校をある程度均等に調査した。令和6年度では、当該計画の全面改定ではなく一部見直しであることから、当初、小中学生アンケートの実施は予定していなかったが、「イベントに合わせて行ってはどうか」との環境審議会での実施意見を踏まえて、環境エネルギー学習の出前授業を実施した際にその小学校の児童を対象にアンケートを行うこととした。
- ・問1の「家のまわりの環境についてどう思うか」において、「空気がきれい」や、「緑が多い」など町の自然環境に関する設問においては、「川の水がきれい」などの一部の設問を除いて、肯定的な回答が7割から9割を占めており満足度が高い状況にあると言える。
- ・問1の中でもっとも肯定的な回答が低かったのは、「ごみのポイ捨てがない」であり肯定的な回答は5割に留まった。問3の自由記述、「環境をよくするために何をすればよいか」においても、「ごみのポイ捨てを禁止すべき」との意見は全体の約4割と多数を占めている。
- ・問2の「環境にやさしい取り組みをしているか」において、「ものを大切に使う」、「ごみのポイ捨てをしない」、「必要のない電気は消す」などの暮らしに身近な取り組みは肯定的な回答が9割に達するなど高い実施率を示している。一方で、「大きな音を出して近所に迷惑をかけない」などは前回よりも減少しており、また、「地域で行う道路、公園などのそうじに参加している」は、令和6年度・令和2年度ともに

資料1_中期見直しに向けた小学生アンケートの回答比較

肯定的な回答が3割程度と、美化運動への参加が浸透していない状況がうかがえる。

- ・そのほか、問2における回答では全体的に令和6年度・令和2年度ともに肯定的な回答が多数を占めており、子ども達が環境にやさしい取り組みを行うことに対して、概ねポジティブなイメージを持っており、また、実践していることが読み取れた。
- ・問3の自由記述、「環境をよくするために何をすればよいか」では、前述のとおりポイ捨ての禁止への意見が多く見られたほか、「通学路に落ちている犬のフンを飼い主が責任を持って始末する」や、昨今の夏季の猛暑を念頭においてか、「二酸化炭素を出さない」といった地球温暖化防止対策に関する意見も見られた。